

令和 4 年 3 月 22 日
東北地方整備局港湾空港部

相馬港の被災状況を調査

～東北地方整備局によるテックフォースの派遣～

相馬港では、3月16日に発生した福島県沖を震源とする震度6強の地震により、多くの岸壁など港湾施設にひび割れや段差等が発生し、利用不可になるなど、大きな被害に見舞われました。

東北地方整備局では、港湾施設の被害調査等のため、3月21日に6名のテックフォースを派遣しました。現地では、日本埋立浚渫協会東北支部及び港湾技術コンサルタント協会の技術者と連携し調査等を行うとともに、今後の災害復旧について検討を進めております。

引き続き、港湾管理者である福島県とも協力して、相馬港の早期復旧に取り組んでまいります。

■概要

東北地方整備局港湾空港部では、3月21日に相馬市に6名のテックフォースを派遣しました。これにより、被災地での情報収集を進め、速やかな災害支援に繋がっていきます。

■被災地の状況



2-2号岸壁



1-7号岸壁

〈発表記者会〉宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】

東北地方整備局 港湾空港企画官 邊見 充（内線 6215）

住 所：仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟

電 話：022-716-0001（代表）